

25. 呼吸サポートチーム（RST）活動報告

1. メンバー紹介

・RST

岸 正人（麻酔科） 菊池 元（麻酔科） 長谷川 幸人（臨床工学技士）

齋藤 加恵（理学療法士） 佐太木 淳一（理学療法士）

田中 大輔（薬剤師） 三浦 良哉（集中治療センター看護師） 佐藤 慎吾（集中治療センター看護師）

薄葉 由里子（集中治療センター看護師）

・RSTリンクスタッフ

神尾 季代子（4 E） 岩浪 英里（4 W） 齋藤 さち（NICU） 進藤 ちさと（5 E）

齋藤 多恵（5 W） 伊藤 妃菜（6 E） 菊池 彩（6 W） 富樫 京（7 E） 千葉 知恵美（7 W）

大滝 まり子（8 E） 佐藤 佳奈（8 W）

2. RST介入依頼件数および人工呼吸器患者の動向

当院における、2018年1月から12月までの人工呼吸器装着患者は150名で、人工呼吸器使用期間は1日から最長220日で平均は7日、中央値2日でした。人工呼吸器患者の入院期間は死亡退院を含める1日から現在入院中の患者を含め最長347日で平均40.7日、中央値30日でした。2017年との比較では、人工呼吸器装着患者数は減少傾向にあります。人工呼吸器装着平均日数は10日から7日と減少したが、入院日数平均値は40日から42日と増加、入院日数中央値は29.5日から30日であり平均値としてはほぼ変化はありませんでした。（図1）。

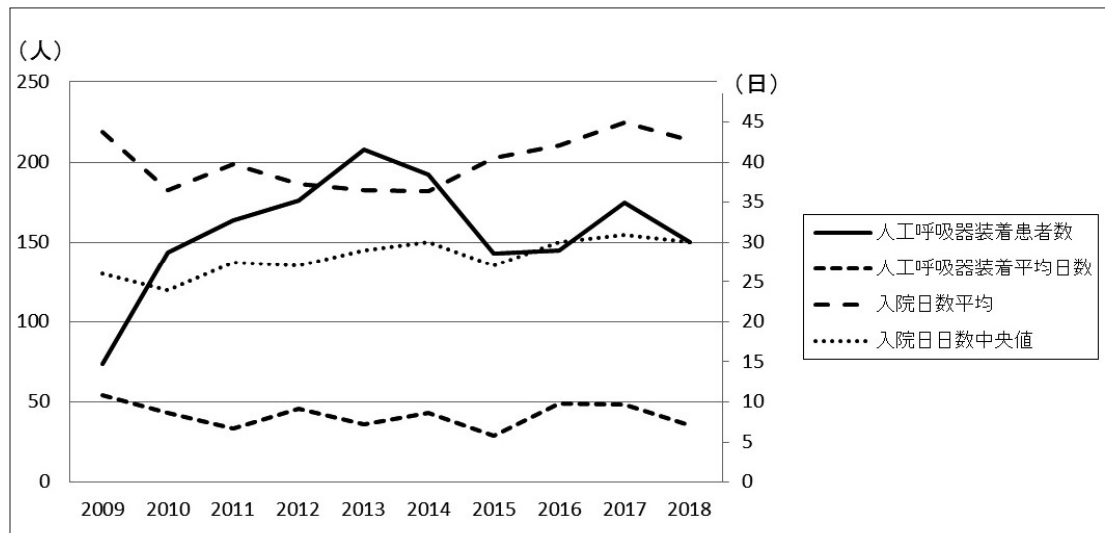


図1 人工呼吸器患者の動向

人工呼吸器使用状況は、緊急術後症例が25%、循環不全が24%、次いで術後症例予定が15%でした（図2）。概ね過去5年間と変わらず、緊急術後症例と循環不全（心停止含む）の人工呼吸器使用が多い傾向となっています。

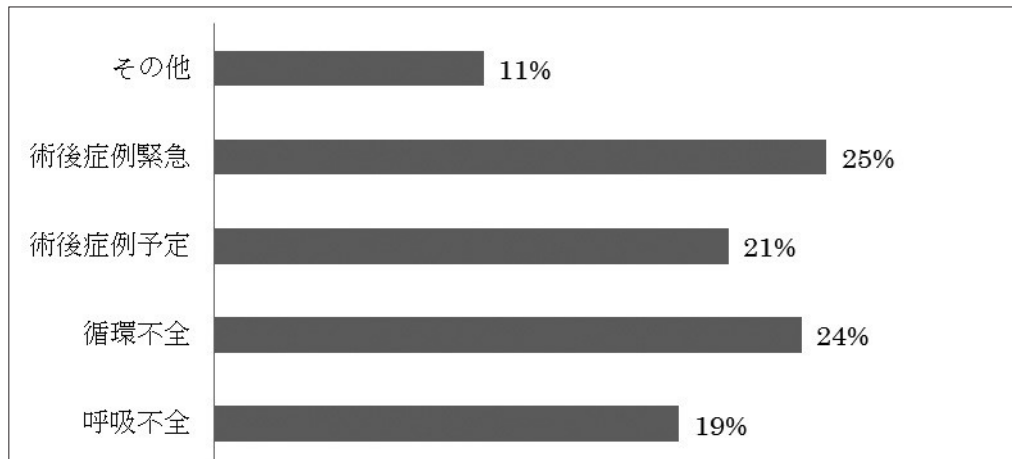


図2 人工呼吸器使用状況

科別人工呼吸器使用状況では例年通り循環器科・脳外科の使用が多く、ついで外科の使用が多い傾向でした（図3）。

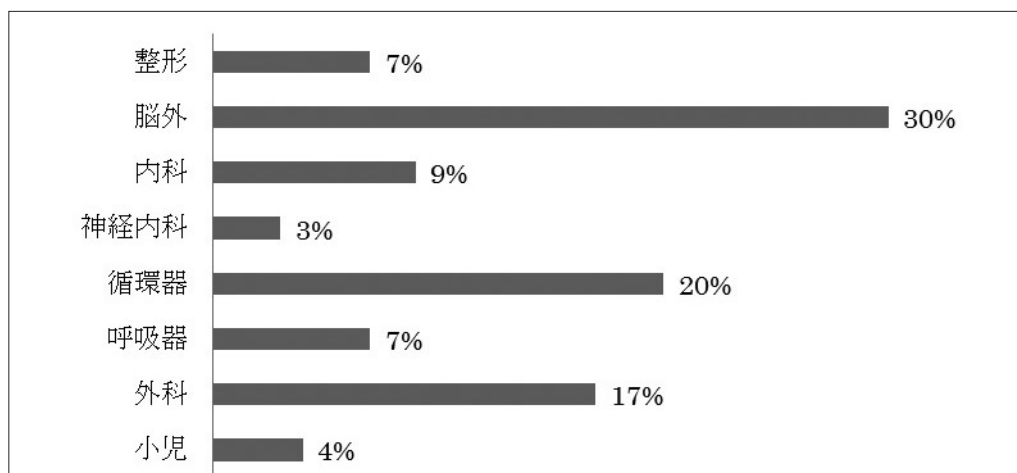


図3 科別人工呼吸器使用状況

脳神経外科ではICD・SDH・SAHによる開頭術（coil含む）が75%、外科では消化管腫瘍開腹術が42%、循環器科ではうっ血性心不全が73%、冠動脈疾患が10%でした。これまでよりも心不全患者に対するNP/PV装着が増加しています。内科においては感染の割合が50%と多く次いで呼吸停止42%、心停止後21%でした。また、2018年の人工呼吸器装着患者の死亡者数は20名で昨年より15名減少しており、循環不全が大幅に減少しました（図4）。死亡率に占める割合の25%が呼吸停止、15%が蘇生に成功した心停止でした。残りの死因として心不全が20%、外傷10%、感染10%でした。

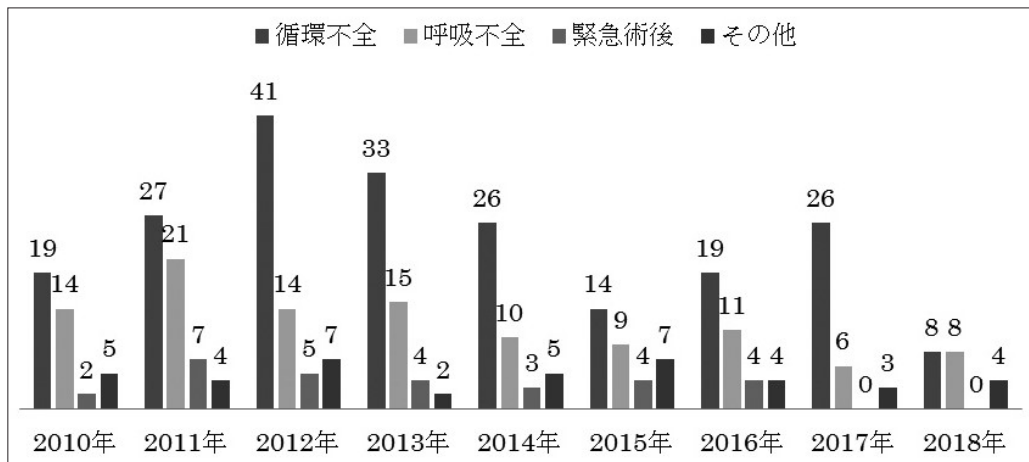


図4 年別死亡原因

RST介入率（図5）は、全体の呼吸器使用患者の72%と昨年より増加しており、非介入例の内訳として、DNR、主治医管理を含め介入前や土日の早期抜管が多かった。非介入としては例年通りの結果と考えます。また、介入期間は1日から最大87日間と長く介入していた患者もいますが平均で6.4日、中央値で3日でした。人工呼吸器離脱率（図6）は2009年からの10年間のデータでは6割から7割後半程度で推移しており、大きな変化はありません。離脱できなかった患者の大半は死亡退院でした。

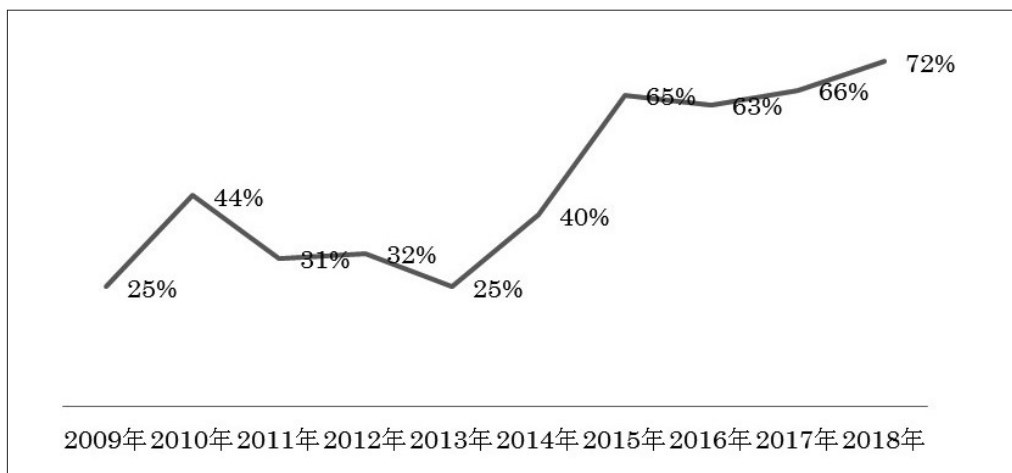


図5 RST介入率

3. RST委員会活動内容

①人工呼吸器装着患者ラウンド

主に集中治療センターにおいて、人工呼吸器装着患者のうち介入依頼のあった症例に対し介入し、人工呼吸器管理から離脱までを主治医とともに管理している。

②広報紙：合計2枚発行（7月、3月）

③SBT評価：人工呼吸器離脱プロトコル改訂、抜管評価追加

④記録の標準化：SAT/SBT/抜管/早期離床についてテンプレート作成

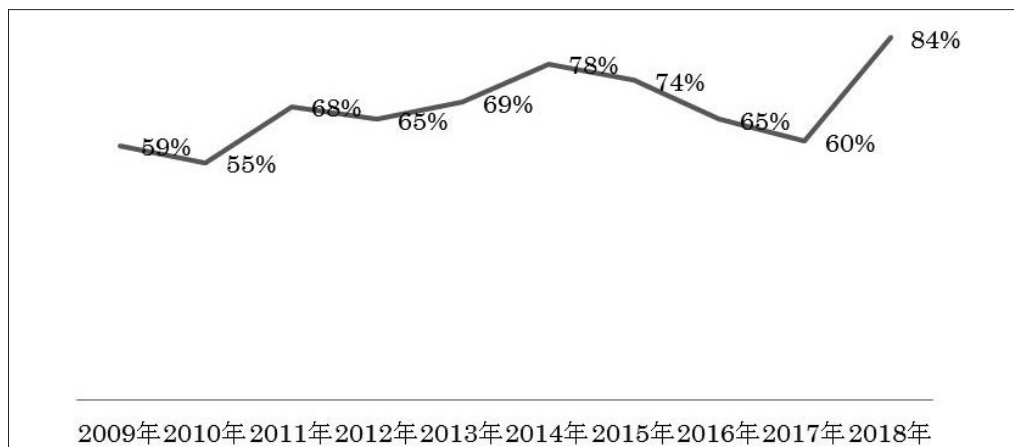


図6 人工呼吸器介入率

4. RSTリンクスタッフ活動報告

①RSTリンクナースによる入院棟ラウンド

リンクナース会議の一環として、人工呼吸器装着中患者および、酸素療法や呼吸療法が必要な患者のラウンドを実施し、管理方法やケアについて共有することで、リンクナースの自部署における役割の明確化と知識の確立を図った。

②自部署における呼吸ケアに関する問題解決に向けた取り組み

呼吸療法関連の問題点を抽出（現状把握）し各部署で問題解決・改善に向けての活動を実践した。また、それらの内容を共有することで、呼吸ケアにおける意識の向上につなげた。

③ 呼吸回数測定の定着に向けた活動

当院の呼吸回数測定率は10%程度とかなり低値である。そのため呼吸回数測定の必要性や測定方法に関しての学習会や周知を行ったが測定率に変化は見られなかった。引き続き呼吸回数測定が定着するよう活動を継続する。

5. 講演会

テーマ：「人工呼吸の基礎」「呼吸の観察」

講師：新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター助教

星野 芳史先生

荘内病院 集中治療センター看護師

佐藤 慎吾

講演日：2018年2月16日（金）18：00～19：30

参加人数：51名（看護部 43名、診療部 8名）

学習会

呼吸のフィジカルアセスメント

1回目（6月15日）10名

2回目（12月14日）14名

6. 3学会合同呼吸療法認定士

平成30年 第22回呼吸療法認定士取得 星野 悠太（看護師）